

# 国立大学法人鳴門教育大学高島団地飲料自動販売機設置等事業仕様書

## 1. 事業の概要

### (1) 事業名

「国立大学法人鳴門教育大学高島団地飲料自動販売機設置等事業」

### (2) 事業の内容

鳴門教育大学高島団地における飲料自動販売機及び回収容器について、本仕様書に基づき設置、管理、運営する業務

### (3) 事業場所及び教職員・学生数

鳴門教育大学高島団地構内

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 7 4 8 番地

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 9 9 番地の 7

教職員・学生数 約 1,300 名

### (4) 設置台数及び種類

設置台数 7 台（コーヒー専用自動販売機等 1 台を含む。）

設置場所 別紙「設置場所及び種類一覧」による。

（※コーヒー専用自動販売機等は附属図書館 1 階玄関南側に設置）

### (5) 事業期間

令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで。

ただし、事業期間が満了する 3 か月前までに甲乙双方が特段の意思表示をしない場合は、同一内容で更に 1 年継続し、以後、令和 10 年 3 月 31 日まで同様に扱うものとする。

飲料自動販売機に係る事業者と業務委託契約を締結するものとする。

### (6) 事業の開始日

令和 6 年 4 月 1 日

## 2. 費用負担

飲料自動販売機設置及び回収容器に伴う次の事項は事業者の負担とする。

- (1) 不動産（土地及び建物）貸付料
- (2) 光熱水料
- (3) 上記（1）及び（2）に係る振り込み手数料
- (4) 搬入、据付に係る費用
- (5) 設置に伴う工事費用
- (6) 契約終了時の撤去費用及び原状回復に係る費用
- (7) 修理及び更新等に係る費用
- (8) その他設置・運営に係る費用

### 3. 廃棄物の処理について

事業者が飲料自動販売機置き場に設置する回収容器から発生する廃棄物は、全て事業者が責任を持って処理し、回収したペットボトル、缶、容器等は各自治体の定めるリサイクル処理を実施するものとする。

また、事業者が設置した飲料自動販売機以外の廃棄物が混入していても同様に処理するものとする。

### 4. 飲料自動販売機周辺の清掃について

空き容器等の回収の際に飲料自動販売機周辺の清掃を行うとともに、清掃について苦情・要望がある場合は、速やかに対応するものとする。

### 5. 事業について

事業者は次の事業を行うものとする。

- (1) 飲料自動販売機の商品構成は、特に指定のない場合は設置場所の特性や季節等を考慮し、常に購入者のニーズに応えるべく対応するものとする。
- (2) 商品が品切れになったときは直ちに補充するものとする。人気商品は品切れにならないように注意するものとする。
- (3) 商品の販売価格は提案事項とする。
- (4) 商品の賞味期限切れに注意し、賞味期限切れとなった商品は直ちに入れ替えするものとする。
- (5) 廃棄物については定期的に回収し、回収容器周辺は常に衛生を保つように注意するものとする。
- (6) 飲料自動販売機は定期的にメンテナンスを実施し故障などが生じないよう配慮するものとする。
- (7) 飲料自動販売機を設置する際は、転倒防止など安全対策を考慮し設置するものとする。
- (8) 飲料自動販売機の故障や釣り銭が出ない等の苦情に対して、直ちに対応するものとし、苦情の連絡先を飲料自動販売機に明示するものとする。
- (9) 設置する飲料自動販売機の機種は次による。

#### 【コーヒー専用自動販売機等を除く 6 台】

- ・ユニバーサルデザイン自動販売機とする。
- ・エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和五十四年六月二十二日法律第四十九号）に基づき経済産業大臣が定める「自動販売機の性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」により、省エネ対策を施したエネルギー消費効率のよい自動販売機であること。
- ・ノンフロン冷媒又は、低 GWP 冷媒のものとする。
- ・災害時対応型でフリーベンド機能を有するものとする。

【コーヒー専用自動販売機等 1 台】

- ・挽きたての豆からドリップするタイプであること。
- ・出来上がりしかドアが開かない（飲み残しを捨てることができない）タイプであること。
- ・定期的に点検し，常に衛生的な状態が保たれていること。
- ・コーヒー豆，紙コップ等が途切れないように補充すること。
- ・基本のコーヒーに加えてフレーバーコーヒー・ココアの用意があること。
- ・エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和五十四年六月二十二日法律第四十九号）に基づき経済産業大臣が定める「自動販売機の性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」により，省エネ対策を施したエネルギー消費効率のよい自動販売機であること。
- ・ノンフロン冷媒又は，低 GWP 冷媒のものとする。

6．飲料自動販売機に関する一切の業務

その他飲料自動販売機に関することについては，全て設置事業者の責任において実施するものとする。

7．契約終了時について

契約終了時には，直ちに飲料自動販売機を撤去し原状に戻すものとする。

8．賠償責任について

販売商品（衛生管理に起因するものを含む），飲料自動販売機に起因する事故による本学及び本学関係者あるいは第三者への賠償は事業者の責任において全て行うものとする。

9．その他

- ① 飲料自動販売機等設置のための使用する土地及び建物を他の用途に転用，他の者への転貸，又は担保に供してはならない。
- ② 設置する計量器は，検定付きのものとする。
- ③ 飲料自動販売機設置に伴う配線工事等は目立たないように配慮すること。
- ④ 仕様書について定めのない事項については，本学と協議の上決定するものとする。

以上